

万が一のときにも安心 マイクロソフトの情報漏洩対策

学校組織の中に生まれるさまざまな機密性の高い情報を適切に管理し、適切なアクセス制御を施してそれが流出しないように対策することはすでに様々な教育機関で取り組まれています。万が一誤ってそれが流出してしまったときの対策についても、同時に考えておくことが必要です。シンプルな暗号化にとどまらず、利便性と堅牢性を兼ね備えた情報漏洩対策について、Microsoft のサービスで実現できることを紹介します。

機微データの漏洩をどうやって守る？

誤って送信してしまっても・・・ラベル付けて読めないのが安心！

紙にハンコを押すように、Office ファイル等についても機密度のラベルを付けることで、重要性の高い文書を系統的に保護することが可能です。裏側では“暗号化”という技術を使っており、ファイルを開くときに権限がある人かどうかをシステムが自動で毎回本人確認しているので、安全に利用することができます。どんなに気を付けていてもミスをするという前提で情報漏洩しない仕組みづくりをしましょう。教育機関はもちろん、多くの法人企業でも社員を守るための仕組みとして採用されています。

万が一、間違えて送ってしまっても、生徒は読めない。
【ラベルによる制御の設定例】

本来送る予定の先生 → 読める

外部の人 → 読めない

生徒 → 読めない

- ✓ 教員だけが閲覧可能
例) 成績、生徒情報、職員会議資料など
- ✓ 教員+児童・生徒が閲覧可能
例) 教材、学習課題など
- ✓ 誰でも閲覧可能
例) 保護者向け文書、お知らせなど

普段使っている Microsoft Word や Microsoft Excel には、「秘密度」ボタンが付いています

Step 1 文書作成者がラベルを選択する



Step 2 ラベルに応じて、暗号化等のファイル保護が適用



Step 3 秘密度が変わった場合はラベルを変更可能



※デフォルトのラベルを設定することもできます。

岐阜県教育委員会

重要性分類を見直しラベル付け。クラウド活用できるデータが明確に

事例

岐阜県教育委員会は、校務系・学習系データの分類を検査し、重要性分類Ⅰ～Ⅳにそれぞれ配置しました。特に「Ⅰ」「Ⅱ」分類のデータは、新たに、クラウド保存を考慮し、教員以外のアクセスを防ぐため、Microsoft Office の「秘密度」機能を用いてアクセス可能な人を「教員のみ」に制限するルールを設定しました。これにより、万が一教員以外の部外者がファイルを入手しても開けないようになります。

詳しくはこちら



情報損失防止（DLP）ポリシーを設定して、文書の中身を元に流出ブロック

万が一、うっかりデータを持ち出してしまった際に必要な暗号化の技術も重要ですが、そもそも誤った対象に向けて情報を出さないようにする、という対策が必要です。前提として、ユーザー IDなどを起点とした情報へのアクセス権制限御ももちろん対策が必要ですが、移動させるデータ自体の情報を元にして、情報流出をブロックする方法があります。情報損失防止の機能で、どのような情報に対して、どのような条件でデータを移動させたら、どういった対応をするかという決まりごとをあらかじめ設定しておくことができます（ポリシー設定）。また、条件には、機密度の高い情報に該当する具体的なキーワードを設定したり、“名簿情報に相当するファイル”のように、ファイルの中身を見て、AIに自動判定させる設定も可能です。

情報損失防止ポリシーを設定する

この条件に合致する文書であれば…

ブロックする

例えば、名簿のような機密性の高い情報を生徒に送ろうとすると…

AIが自動判定して

先生の Teams 画面

生徒の Teams 画面

ブロックされるので生徒には届きません

次世代の教育 ICT 環境に求められるゼロトラストの考え方は？

1人1台の端末を有効活用し質の高い教育を実現するため、文科省セキュリティガイドラインで触れられているゼロトラストセキュリティの考え方や、それがもたらす教育効果について、詳しく紹介しています。

教員の働きやすい環境を整える

教員が働きやすい環境を整えることで、業務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を創出します。

- 教員が安心・安全に使える ICT 基盤、サクサク動くパソコン
- 転記・集計などの事務作業の自動化
- 働く場所や時間を選べる環境で、仕事の効率を上げる

より深い学びの実現

ICT の特性を生かし、より深い学び合いや探究学習を実現することで多様な子どもたちの可能性を広げます。

- 時間や場所の制約を超える
- 意見を共有しあう手段が増える
- 様々な履歴を蓄積し、振り返りできる



ゼロトラストセキュリティについて詳しくはこちら ▼



本リーフレットについてのお問い合わせ

本リーフレットに記載された情報は制作当時（2024年5月）のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご承知ください。本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。

■インターネット ホームページ <https://www.microsoft.com/ja-jp/>

■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00 ~ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く) ※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

*記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。

*製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。